

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

平成23年11月30日

学校名 牛久市立ひたち野うしく小学校 担当者 教諭・木村 晴美

(教育委員会担当；指導課児童クラブ室 大塚 浩)

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

実施日時	平成23年11月14日(月) 15:30~17:00
対象学年と人数	1年生~3年生(218人) 4年生~6年生(33人) 計251人
派遣講師名と出身国	コーディネーター；庄司 京子 <外国人講師> ○ ハイ・レイエイ(中国 留学生) ○ シャ・エムディ・フォエズ(バングラデシュ 留学生)
活動の内容	(1) はじめのことば (児童代表) (2) 講師紹介 (庄司 京子さんから外国人の紹介、外国人の自己紹介) (3) 交流活動 ①国の紹介・・・中国、バングラデシュの順に実施 国の場所や地勢 国の民族的特徴 生活習慣(食べ物、生活の作法など) 学校の様子 国のことば(あいさつや数の数え方など) ②民族衣装の紹介と体験 ・中国、バングラデシュの男性、女性の服装について実物を紹介しながら説明してもらい、代表の約10名の児童が衣装体験をした。 ③遊びの紹介と体験 ・中国式の「ジャンケンゲーム」やバングラデシュの「片足ケンケン相撲」の遊び方を紹介してもらい、全体やグループで楽しく遊んだ。 ④質問コーナー ⑤まとめのお話(コーディネーター；庄司さん) (4) お礼とおわりのことば (児童代表)
今回実施されたバンについて評価	外国人講師、コーディネーターの方の熱心な取り組みに感謝しております。少しの時間でしたけれども、体育館の中で国際色豊かな一時を過ごすことができました。
生徒・保護者等参加者の感想	<児童の感想文から> ・日本以外の国のことがいろいろ分かって面白かった。バングラデシュの遊びがとても楽しかった。 ・中国の字は難しかったが、数の数え方が覚えられてとても嬉しかった。また、「こんにちは、さようなら」などの言葉を教えてくれて、自分でも言えてとても嬉しかったです。 ・中国の人と写真を撮ったり、二つの国の言葉が知れてとても楽しかったです。遊びも楽しかったです。今度、中国とバングラデシュに行ってみたいと思いました。 ・バングラデシュの国旗と日本の国旗が似ていて大変驚いた。また、バングラデシュの人たちは、ご飯をお箸を使わないで右手で食べるのにも驚きました。 ・中国とバングラデシュの服を見てすごくきれいだった。また、いろいろな服があることが分かりました。中国では、赤がいいと言っていました。はじめて分かりました。わたしも服を着てみたいと思いました。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国とバングラデシュのお料理はとても辛いと言ってました。でも、デザートはとても甘いと言ってました。</li> </ul>
<p>先生の感想 (児童クラブ指導員等の感想)</p>	<p>○外国人と直接触れ合う機会はなかなかないので、子どもたちにとっては大変貴重な体験だったと思います。子どもの感想文などを見ても、子どもたちが2カ国の良さや日本との違いを鋭い感覚で、素直に感じ取っていた。また、日本以外の国への興味関心も高まったように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国、バングラデシュの国の事をたくさん聞け、自分の住む日本とどう違うのか考えることができた。</li> <li>中国やバングラデシュの食文化や生活、学校生活の様子など知ることができ大変勉強になりました。自分が知らない世界が少し分かることができ嬉しく思いました。内容では、中国やバングラデシュの遊びや流行っていることなどもう少し教えて欲しかったです。いつ行けるか分かりませんが、一度は行ってみたい国になりました。</li> </ul>

